

国際サイクリング大会「サイクリングしまなみ 2024」 の成果について

1 要旨

令和6年10月27日（日）に開催した国際サイクリング大会「サイクリングしまなみ 2024」の成果について、次のとおり報告する。

2 大会開催概要

- 国内は全47都道府県、海外は27の国と地域から、総勢3,446名が出走し、広島側からスタートした出走者数は1,489名と過去最高となった（抽選後の申込者数：3,780名）。
- また、海外からの出走者の割合についても、約14%と過去最高となった。
〔27か国・地域 479名 ※国内在住者含む
（台湾206名、中国61名、アメリカ50名、韓国49名 など）〕

3 経済効果

- ◆ 経済効果：4億4,338万円（直接効果：2億9,185万円、間接効果：1億5,153万円 ※）
（※ 間接効果のうち、間接一次効果：9,254万円、間接二次効果：5,899万円）

【算出方法】

- 「参加者、観客・併催イベント来場者などによる消費額」及び「事業費（実行委員会経費・事務局経費）」による経済効果を推計
- 参加者数は3,446人、観客・併催イベントの来場者数は約34,500人
※（株）いよぎん地域経済研究センターにて算出

【語句説明】

- 「直接効果」は、「参加者、観客・併催イベント来場者などによる消費額」及び「事業費」から財・サービスの調達を県外に頼らざるを得ないなど、県外に消費が流れた部分を控除した額
- 「間接一次効果」は、「直接効果」により、県内各産業から財・サービスを調達する額
- 「間接二次効果」は、これら（直接効果＋間接一次効果）に伴う雇用所得の上昇により、県内で発生する消費需要に基づく生産誘発額

- ◆ 広報宣伝効果：8,257万円（新聞・雑誌等：5,192万円、テレビ・Web等：3,065万円）

【推計方法】 同業同種の広告料金等を参照するなどして、個別に広告換算を行った。

4 その他の波及効果

- (1) 参加者アンケートによると、2024大会は2022大会と比較して、大会への満足度（約4%増）やリピート傾向（約6%増）が増となっており、大会自体に対する評価を高めることができた。
- (2) アンケート回答者の99%がしまなみ海道への再訪意向があり、また9割を超える方がしまなみ海道以外への広島県・愛媛県内のサイクリングコースへの走行意向があることから、当大会を通じて、瀬戸内ブランドの強化に大きく寄与していることがうかがえる。
- (3) 県による誘客促進の結果、台湾の旅行会社3社が大会に参加するツアーを実施した。大会のみならず、江田島やさざなみ海道も周遊し、その様子がPR動画として発信されるなど、今後の誘客促進が期待できる。

【参考情報】

参加者によるアンケート結果の抜粋（回答数953名、外国籍除く）

- 大会全般の満足度：94.7%（2022大会：90.9%）
- しまなみ海道への再訪意向：99.4%（2022大会：93.6%）
- しまなみ海道以外のサイクリングコースへの走行意向：95.4%（2022大会：96.5%）
- 大会前日又は当日の宿泊：73.4%（2022大会：69.7%）

5 令和6年度予算（単県）

122,757千円

6 事業目標

大会参加者数：3,500人

7 今後に向けて

次回「サイクリングしまなみ 2026」開催に向け、走行の安全性や満足度を高め、瀬戸内ブランドの強化につながるよう、関係者と検討していくこととする。